



# みらい通信 no.4

2025.1月号

630-0263

生駒市中菜畑

2-1128

ソレイユ生駒102

0743-83-1570

メールアドレスQRコード



<http://tolerance-nara.com/>



InstagramQRコード

いつも「児童発達支援・放課後等デイサービスみらい」をご利用いただきありがとうございます。昨年のクリスマス会には多数のご参加をいただき、ありがとうございました。皆様のおかげで、午前・午後の部とも楽しい時間を過ごすことができました。個別での保育が中心で、なかなか他のお子さまと関わる機会のないお子様も、一緒に楽しんでいただけたようです。

今回参加がかなわなかった方も、是非、次回のご参加をお待ちしています。

さて4回目になる今回は、皆さんにも身近な「絵本」、その中でも「読み聞かせ」をテーマに少しお話をさせて頂きたいと思います。

いろいろな絵本をよむことが子どもにとって役に立つ、と思うかもしれませんが、自分の子どもには、もっといろいろな絵本を読んでほしいと望んでしまいがちです。しかし、絵本の読み聞かせでもっとも大切なことは、お子さま自身が得られる心の満足感です。つまり、お子さまが絵本の世界に触れて、純粋に「楽しいな」と思う心を優先させてあげる必要があります。そのために大事になってくることのひとつが「繰り返し」です。

## 繰り返し絵本をよむことの大切さ

☆「知っている」の安心感 子どもにとって、毎日が知らないこと・初めてのことだらけ。常に緊張と隣り合わせの子どもたちにとって「この絵本知っている!」「これはおもしろい絵本だ!」というのは大きな安心であり喜びでもあります。“知っている”という喜びで心を安定させながら、新しいことだらけの世界に踏み込んでいきます。子どもたちの「知っている安心」を大切にしてほしいと思います。

☆子どもの思った通りになる喜び 赤ちゃんでも繰り返し読んであげれば内容が理解できて「次のページにこう来る!」とわかるようになります。絵本は何度読んでも必ず思った通りの展開に進みます。それは「私の願ったとおりになった!願いが叶った!」という感情と同じ喜びです。その喜びを味わいたくて繰り返し同じ本を読んでほしいがるのです。子どもの願いは様々です。その全て

をかなえることは難しいですが、絵本を読んであげるだけで「予想した展開通りになった！」という喜びはかなえてあげられます。

#### ☆絵本の栄養をあますことなく吸収している

何回も繰り返し同じ絵本を読むことは、何回も咀嚼して絵本の栄養を余すことなく吸収している表れなのです。同じ絵本を、同じように楽しんでいるように見えて、そこから受け取る栄養は日々違います。読むたびに新しい発見や、楽しみ方を見出しています。おはなしの筋だけではなく、作者の遊び心や絵からのメッセージを発見して楽しめます。1冊の絵本からたくさんのおもしろさを吸収して、子どもの中に残っていきます。全て読まなくても、1ページだけでもかまいません。子どもに寄り添って絵本の世界を共有し、楽しい時間を過ごしてみましょう。（各種HP・「絵本とおもちゃでゆっくり子育て」インプレス社参照）

ここでは、**みらい**でもよく読む、人気の絵本をいくつか紹介します。



☆だるまさんシリーズ



ぴよーん



いない いない ばあ



もこ もこ もこ



もぐ もぐ もぐ



おべんとうバス



おべんとう



きんぎょが にげた



ペンギんたいそう